



家畜衛生情報

H28.11.24
養 鶏

■トピックス

1. 鳥インフルエンザの季節です
2. 防疫対策について



農場の出入口には、看板を設置し、消石灰等を定期的に散布して関係者以外の出入りを制限しましょう。

1 鳥インフルエンザの季節です

- 今年も気付けば肌寒くなり、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）に警戒が必要な季節となっております。10月上旬に水鳥公園にコハクチョウが初飛来したのも記憶に新しいところです。
- 11月も後半になり、日本国内の野鳥からHPAIが検出され始めました。国内にすでにウイルスが侵入しており、鶏などに発生する危険が大きな状況であると考えられます。
- 日本に来る渡り鳥は、中国や東南アジア・北米地域に行く渡り鳥と同じようなところ（営巣地）から来ています。したがって、それら地域におけるHPAIの発生状況の把握も大切です。実際、韓国など近隣諸国で発生が続いた年は、日本での発生危険も大きいと言われています。

・今年の世界における野鳥の鳥インフルエンザウイルス検出状況

| 回収日 | 確定検査 | 場所 | 種名 | 亜型 |
|--------|--------|---------|-------------|-------------------|
| 11月6日 | 11月21日 | 鳥取県鳥取市 | オナガガモ糞便 | H5N6 |
| 11月7日 | 11月21日 | 北海道標津町 | オオハクチョウ死亡個体 | H6N2 (高病原性でない) |
| 11月14日 | 11月18日 | 鹿児島県出水市 | ねぐらの水 | H5N6 |
| 11月15日 | 11月21日 | 鳥取県鳥取市 | コガモ糞便 | H5N6 |
| 11月15日 | 11月21日 | 秋田県秋田市 | コクチョウ死亡個体 | H5N6 |
| 11月17日 | 11月21日 | 秋田県秋田市 | コクチョウ死亡個体 | H5N6 |
| 11月18日 | 11月22日 | 鹿児島県出水市 | ナベヅル死亡個体 | H5N6 |

・今年の世界におけるHPAIの発生状況

【中国】夏から10月にかけて、家禽でH5N6亜型の発生が散発しています。

【台湾】年間を通して、家禽でH5N8・H5N2亜型が連続して発生しています。

【韓国】3～4月に家禽でH5N8亜型が発生した後、今年11月に家禽でH5N6亜型が発生しています。

【北米】8月にアラスカ州の野鳥でH5N2亜型の発生が確認されています。

【欧州】ヨーロッパの各国で主にH5N8亜型が連続して発生しています。

2 防疫対策について

- HPAI 等の重大疾病予防のため、日頃の発生予防対策・蔓延防止対策が重要です。今一度、農場の防疫対策についてご確認いただきたいと思います。

車両消毒

- ・従業員も含めすべての車両を消毒。
- ・車内のフロアマットやハンドルなどは、アルコール等で消毒すると効果的。



長靴消毒と交換

- ・必ずひとつの鶏舎ごとに専用長靴を用意。
- ・踏み込み槽も鶏舎ごとに用意し、1日1回交換。

野生動物侵入防止

- ・鶏舎と防鳥ネットの破損、穴あき確認を頻回にする。ネット穴あきは結束バンドなどで応急処置。
- ・数センチ四方のスキマは十分 HPAI のリスクになります。
- ・見回り、草刈り、石灰散布でも野生動物の忌避効果。

重大な病気のまん延防止には、何より異常を発見した際に迅速に家保まで通報していただくことが重要です。大量に死亡した場合など、異常を発見した場合は、家保が農場まで赴きますので、まずはご一報ください。

飼養家禽に異常が認められた場合は、すぐに西部家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

○西部家畜保健衛生所（電話）0859-62-0140

（休日や時間外は、10回コール後に公用携帯に転送されます。）

[文責 朱(あかし)]